

ワークショップとりまとめ

【全体の主な意見】

- ◎行政との距離を感じている（D、E 4、E 6）
- ◎後継者等、若者、働く世代への期待、その取り込みが必要（A、E 3）
- ◎世代を超えたつながりとそれを感じる機会が大切（B、C、D、E 2、E 3）
- ◎団体間や他市とのつながりをもっとつくるべき（E 1、E 2、E 4）
- ◎市民活動について知らず、仲間内の活動という印象。もっと広報が必要（接点を持ちたい。（E 2、E 3、E 5）
- ◎楽しいと感じられることが継続に繋がる。ボランティアの善意だけでは無理がある。（E 3、E 5）
- ◎メリットや目に見える成果を提示していくことも必要ではないか。（E 3、E 4）
- ◎以前に比べ減っている、地域内をはじめとした様々な交流の機会が必要（E 2～5）

【まとめ】

新しい層の取り込み、行政・地域などのつながりや、活動を知る機会（市民活動の拠点を知らない）や、モチベーション（楽しみやメリットなどからくる自発性）が求められているのではないかという意見が多い。

グループごとのテーマ

（A～Dまで1グループ、Eは6グループ）

A：高齢者が生き生き暮らせるまちづくり

B：安心して子育てのできるまちづくり

C：外国人居住者も共に生きるまちづくり

D：だれもが大切にされるまちづくり

E：豊かで持続可能な亀岡の実現のために必要なこと

（サブタイトル）

E 1， 2：市民活動団体を元気にするためには？

E 3， 4：どう取り組む？協働の進め方

E 5， 6：地域の課題解決にどう取り組む？（自治会、市民団体、ボランティア、企業等）